

OpenVPN

PackeiX から乗り換える方も結構いらっしゃるみたいで。ちょうど HomeEdition の 1 年ライセンスが切れたのと、Mac もクライアントにできることから実験することにしました。セキュリティのレベルが自分の能力レベルに依存することになりますが、自分でやるのが楽しいのでしょうか。解説本買いました。古い世代なんで本があると落ち着きますね、やっぱ。

インストール

先人たちの記録を参考に。Windows の GUI 版を日本語化したものを配布しているサイトもありました。

鍵の作成

先人たちの記録・書物で特に問題なし。tls-key も作成。

サーバ側設定 (Windows)

ブリッジでやってます。グローバル・ローカルの両側に足の生えたマシンにインストール。ルータにポートの設定。特に問題なく設定できます。tls-server で設定。サーバを Windows でやる方って多いのかな？できれば Unix にしたいなあ。(デビ化玄箱予定)

クライアント側設定

Windows と Mac で同じ設定を使うと、挙動が違いました。ネットワークの実装(というか OS がデフォルトでやってくれること)が違うのですかね。結構、苦労しました。

Windows

これが一番苦労しました。我が家のネットワーク環境はムダに複雑なので、うまくいかない原因を突き止めるのに苦労しました。原因究明できたのでなく、現象解決しただけ。

- ・ どうも tls-client に設定すると pull を記述しないとサーバ側の push を引いてこないようです。tls-client はやめました。そもそもこれがなんだかちゃんと理解できてません。(^_ ^)
- ・ Windows 自体の問題かもしれませんが、OpenVPN サーバ側ネットワークの別 PC にうまく ? がりません。クライアント側でも route を設定するとうまくいきました。netstat でみると経路の gateway アドレスがサーバ側からの push とクライアント側設定では異なるようです。

イーモバイル接続の PC からつないでファイルサーバが見えたのでよしとしました。

OSX

これは特に問題なし。中身 Unix ですから。TunnelBlick というソフトが GUI ついてて便利です。